

The Perfect Series

An explanation of honorifics and the correct honorifics for each situation. With this, you will have no trouble at work!

Revised edition

**Perfect**

**Honorific**

**Master**

Japanese language  
teaching materials

List



**HH JapaNeeds**  
Private Japanese Lessons

# Perfect Honorific Master

## パーフェクト敬語マスター

### ○ どうして敬語がある？ Why do honorific words exist？

日本には身分制度があつて、生まれたときの身分は、一生変えることができませんでした。敬語は、初めは身分制度を支えることばとして使われていました。しかし、1860年代後半に始まった明治維新で、この身分制度がだんだん変わりました。

今では、人間関係の親疎（どのくらい親しいか）や社会的立場（年齢や社会での地位や経験がどのくらい違うか）によって、敬語が使われるようになりました。

Japan used to have a caste system. For their entire lives, people could not change the caste they were born into. Honorific words were first used as words to support this system. However, the caste system gradually changed with the beginning of the Meiji Restoration in the late-1860s.

Now, honorific words have come to be used according to the degree of intimacy(familiarity) between people or social standing(the degree of difference in age, or in position or experience in society).

敬語を使うと、コミュニケーションがうまく行きます。それは、相手への配慮や社会的立場の尊重を、文法や語彙ではっきり表すことができるからです。ただし、反対に正しく使えないと、相手を配慮していないと誤解される可能性があるととも言えます。

Using honorific words facilitates communication. That is because it lets us clearly express, with grammar and vocabulary, consideration for others and respect for social position. However, if instead you use it incorrectly, then there is the possibility that the other person will misunderstand that you are not being considerate.

「敬語があると人間関係が遠くなってしまう」という人もいます。でも、敬語は、相手への配慮と尊敬をわかりやすく表現できる、とても便利な道具です。また、会話のスタイルは「敬語スタイル」だけではなく、「ですますスタイル」や「友達スタイル」もあります。これらを上手に使い分けることができれば、相手への親しみを表し、友達だと思っていることを、ことばの中に含めて、伝えることができます。

Some people also say, “Because of honorific words our relationships with people become more distant.” But honorific words are a very convenient tool that let you clearly express consideration and respect toward others. And, in addition to the “敬語スタイル”(honorific style) way of conversing there are also the “ですますスタイル”(the style using です(desu)and ます(masu)verb endings) and the “友達スタイル”(casual style).If you can use these properly, then you will be able to express friendliness to others and convey that you think of someone as a friend through your choice of words.

## ○ 敬語のグループ Honorific Word Groups

大きく分けると、敬語は3つのグループがあります。この本では、「尊敬語」と「謙譲語」と「ていねい語」というグループを使っています。

敬語 けいご	尊敬語 グループ	<p>相手のすることに使う。相手を高めて、直接的に敬意を表す。 Use when referring to actions performed by the listener. This raises the position of the listener and directly expresses respect.</p>
		<p>例) 「お/ご～になります」「いらっしゃいます」 「書かれる」など</p>
	謙譲語 グループ	<p>自分がすることに使う。自分を低めて、間接的に敬意を表す。 Use when referring to actions performed by yourself. This lowers your position and indirectly expresses respect.</p>
		<p>例) 「お/ご～します」「拝見します」など</p>
	ていねい語 グループ	<p>ことば全体の雰囲気をしていねいにする。文全体が、聞いている人にとってていねいに聞こえるようにする。 This makes all your speech seem polite. It makes everything you say sound polite to the listener.</p>
		<p>例) 「です」「ます」「～でございます」 「お手紙」「ご連絡」など</p>

目上の人に話すときは「あした」「友達」と言わないで、「あす」「友人」と言ったりすることもあります。これを、「改まった言い方」と呼びます。

There are times when you will not say “あした” or “友達” to superior, but say “あす” and “友人” instead. This is called “改まった言い方”(formal speech).

○ 敬語動詞の表 Table of Honorific Verbs

	尊敬語 Honorific form	謙讓語 Humble form
来ます		まいります
行きます	いらっしゃいます／おいでになります	まいります (相手の家や会社へ) 伺います
います	いらっしゃいます／おいでになります	おります
言います	おっしゃいます	(アレックス・スミス) 申します (意見を) 申し上げます
見ます	覧になります	拝見します
食べます／飲みます	召し上がります	いただきます
知っています	存知です	(今日会議があることを) 存じて おります／知っております (金子部長を) 存じ上げており ます
思います	お思いになります	存じます
	なさいます	いたします
くれます	くださいます	
もらいます		いただきます
会います	会いになります	お会いします／お目にかかります
聞きます	お聞きになります	お聞きします／伺います
あります	おありになります／あります	ございます
寝ます	お休みになります	
着ます	召しになります	
住んでいます	お住まいです	
持ちます／持っています ／持ってきます	お持ちになります	お持ちします
死にました	お亡くなりになりました	
～です	～でいらっしゃいます	～でございます
～ています	～ていらっしゃいます	～ております

文型	お[Vます]になります お[Vます]ください	お[Vます]します
かんたん 尊敬語	I 書きます→書かれます II 教えます→教えられます III します→されます	

来ます→来られます

○ よく使う改まった言い方 Typical Formal Speech

① 家族の呼び方

私の／うちの	他の人の (ですますスタイル)	他の方の (敬語スタイル)
母	母さん	お母様
父	お父さん	お父様
兄	兄さん	お兄様
姉	お姉さん	お姉様
弟	弟さん	弟様
妹	妹さん	妹様
夫／主人	主人	ご主人様
妻／家内	奥さん	奥様
子ども	子さん	お子様
息子	息子さん	ご子息
娘	娘さん	嬢様

② いろいろな人の呼び方

ですますスタイル	敬語スタイル	友達スタイル
	わたくしたち	わたしたち／僕たち／俺たち／ うちら
わたし	わたくし	わたし／僕／俺
皆さん	皆様	
お客さん	お客様	客
友人	友人	友達
あのひと	あの方	あいつ／彼／彼女
お店の人	お店の方	店員
係の人	係の方	係
駅員さん	駅員さん	駅員
アメリカの人	アメリカの方	アメリカ人

### ③役職のある人の呼び方

自分の会社（ウチ）	他の会社（ソト）
弊社（副社長）の 田中 / うちの	田中 副社長
田中 弊社（社長）の 田中 / うちの 田中	田中 社長
弊社（部長）の 田中 / うちの 田中	田中 部長
弊社（課長）の 田中 / うちの 田中	田中 課長

### ④会社や学校の呼び方

		あなたの
学校	本校 / 当校	御校 / 貴校
会社	弊社 / わが社 / 当社	御社 / 貴社
大学	本学	御学 / 貴学

### ⑤「お」「ご」のつくことば

		「ご」のつくことば
形容詞	好き、お嫌い、お元気、お疲れ、お急ぎなど	ご健康、ご無理、ご満足、ご不快 など
動詞	電話します、お約束します、お持ちしますなど	ご報告します、ご紹介します、ご遠慮しますなど
名詞	電話、お写真、お返事、お食事、お手紙、お荷物、お持ち物、お名前、お気持ち、お金、お礼、おみやげ、お弁当、お風呂、お飲み物、お品物、お手洗い、お見舞い、お祈り、お祝い など	ご家族、ご夫妻、ご長男、ご住所、ご印鑑、ご予算、ご意志、ご本、ご署名、ご注文、ご計画、ご予約、ご招待、ご出席、ご参加、ご登録、ご入金、ご出発、ご入学、ご結婚、ご関係 など

## ⑥時間にかかわることば

普通の言い方	改まった言い方
昨日	昨日
今日	本日
明日	明日 / 明日
一昨日	一昨日
明後日	明後日

普通の言い方	改まった言い方
今年	本年
去年	昨年
一昨年	一昨年
一か月	ひとつき

## ⑦副詞の改まった言い方

副詞	意味	例
先ほど		先ほどメールをお送りしました。
	今	会議中 でございます。
後ほど		後ほどお電話いたします。
先日	間	先日はありがとうございました。
以前	前に	以前 うかがいましたが.....
当日	日	当日の集合時間は9時です。
間もなく		間もなく1番線に電車がまいります。
	あるときから、時間を置かないですぐに	それでは、さっそくお仕事を始めます。
早急に / 至急	急いで、すぐに	早急にご回答ください。
	すぐに	ただちにご連絡申し上げます。
あらかじめ	前に / 前の時点で	了承 ください。
～次第、	～したらすぐに	到着次第、ご連絡申し上げます。
	都合が悪く / 残念ですが	明日は会議の予定が入っております。
ぜひ	どうしても ※強い希望	ぜひ、おいでください。
丁重に		丁重にお断りします。
概ね		概ね了解いたしました。
少々	少し	少々お待ちください。

## ⑧動詞の改まった言い方

動詞	意味	対象・意味・用法	例
拝受する	受け取る／もらう	配達物、メール、手紙など	メールを拝受しました。
受領する	受け取る／もらう	配達物など	受領のサインをお願いします。
査収する	受け取る／もらう	内容をよく確認して受け取る。自分には使わない	査収のほどよろしくお願いいたします。
納める	受け取る／もらう	品物、贈り物など	納めください。
納める	金を払う	税金など	期日までにお納めください。
送付する	送る	郵便物など	資料をご送付ください。
発送する	送る	配達物など	速達で発送しました。
配布する	配る	用紙など	問題用紙を配布します。
入金する	金を払う	銀行振込など。店での支払いには使わない	入金ください。
捺印する	印鑑を押す		署名をご捺印をお願いいたします。
使用する	使う	物	使用になる前に、説明書をご覧ください。
利用する	使う	物、サービスなど	当店をご利用いただき、ありがとうございます。
希望する			のご利用をご希望ですか。
販売する	売る		販売しております。
発売する	売り出す		来月発売予定です。
購入する	買う		現金で購入しました。
求める	買う		窓口でお求めください。
拝読する	読む	手紙、メールなど	手紙を拝読しました。
拝聴する	聞く	意見やスピーチなど	意見を拝聴しました。
記入する	書く	申込用紙など	正確にご記入ください。
記す	書く		概要を以下に記します。
通知する	知らせる		結果はメールで通知します。
依頼する	頼む		田中様に撮影を依頼しました。
承る	受ける	命令など	予約、承りました。
検討する	考える		少し検討させていただきます。
承知する			依頼の件、承知しました。
了解する			知らせについて、了解しました。



断念する			時間がないので、断念しました。
了承する			了承ください。
失念する	忘れる		失念しておりました。
来日する	日本に来る		昨年4月に来日しました。
帰国する	国へ帰る		来年3月に帰国します。
出社する/ 出勤する	会社に行く/来る	自分の会社に行く 場合	田中は9時に出社する予定です。
退社する/ 退勤する	会社から帰る		田中は、本日はもう退社しました。
失礼する	場所を去る		そろそろ失礼いたします。
帰宅する	帰る		早めに帰宅させていただきます。
退社する/ 退職する	会社をやめる		田中は先月、退職しました。
開店する	店を開ける		午前10時に開店いたします。
閉店する	店を閉める		閉店時間は午後9時となっております。
来店する	店に来る		来店ください。
来場する	会場に来る		来場をお待ちしております。
かける	座る		

○ かいわ 会話のスタイル べつひょうげん 別表現リスト List of Expressions by Conversation Style

敬語スタイル		友達スタイル
先生、客、「ソト」の人、 目上の人	同僚、「ウチ」の人、 同じか少し上のレベル の人	親しい友達、家族、目下 の人
願いたします／申 上げます。	よろしくお願いたします。	よろしく。
お元気ですか？	元気ですか？	元気？
承知しました。		わかった。
ありがとうございます。	ありがとうございます。	ありがとう。
申し訳ありません／ございま せん。		ごめん。
こちらにおかけください。	ここに座ってください。	ここに座って。
後ほどご連絡します。	ご連絡します。	あとで連絡する。
お待ちしております。	待っています。	待ってる (ね/よ)。
失礼いたします。	じゃ、そろそろ失礼します／ 帰ります。	じゃ、そろそろ帰る (ね)。
お気をつけください。	気をつけてください。	気をつけて (ね)。
連絡ください。	連絡してください。	連絡して。 連絡ちょうだい。
送りください。	メールを送ってください。	メール送って。 メールちょうだい。
ロビーにお集まりください。	ロビーに集ってください。	ロビーに集って。
かさをお持ちください。	かさを 持 っ て い っ て く だ さ い。 かさを 持 っ て き て く だ さ い。	かさ、持 っ て (い) っ て。 かさ、持 っ て き て。
こちらをご覧ください。	こっちを 見 て く だ さ い。	こっち (を) 見 て。
どうぞおっしゃってください。	どうぞ 言 っ て く だ さ い。	言 っ て。
連絡くださいますか／いただ けますか？	連絡 して くれ ます か／もらえ ますか？	連絡 して くれ る／もらえ る？
通 っ て い ただ け ます か。	す み ませ ん、ち ょ っ と 通 っ て もらえ ます か。	ち ょ っ と 通 っ て。
お 願 い でき ます だ ゝ う か？	お 願 い でき ます か？	お 願 い でき る？
ち ょ っ と 教 え て い た だ き たい ン だ げ だ ゝ う .....。	ち ょ っ と 教 え て も ら い たい ン だ げ だ ゝ う .....。	ち ょ っ と 教 え て も ら い たい ン だ げ だ .....。
恐 縮 だ げ だ、代 わ り に 行 っ て	す み ませ ん が、代 わ り に 行 っ	悪 い け ど、代 わ り に 行 っ て くれ

いただけないでしょうか？

てくれませんか？

ない？

敬語スタイル		友達スタイル
遅れにならないようお願いします。	遅れないでください。	遅れないで。
無理をなさらないでください。	あまり無理をしないでください。	あんまり無理しないでね。
お忘れにならないようお願いします。	お忘れないようにしてください。 お忘れしないでください。	お忘れないようにして(ね/よ)。 お忘れしないで。
今日は暑いですね。	今日は暑いですね。	今日は暑いね。
似合いですね。	よく似合ってますね。	よく似合ってるね。
危ないのではないのでしょうか？	危ないのではないですか？	危ないんじゃない？
疲れていらっしゃるのではないですか？/お疲れではありませんか？	疲れているんじゃないありませんか？	疲れてるんじゃない？
相談いたしました、	相談しましたが、	相談したけど、
確かにそうかもしれませんが、	確かにそうかもしれませんが、	確かにそうかもしれないけど、
	あまりよくないんじゃないですか？	あんまりよくないんじゃない？
これは少し高いのではないのでしょうか？	これ、少し/ちょっと高くないですか？	これ、ちょっと高くない？
社長は会議室にいらっしゃいます。	社長は会議室にいます。	社長は会議室にいる。
田中はただいま外出しております。	田中さんは今ちょっと外出しています。	田中さんは今はちょっと外出してる。
存じません。	そんなことは知りません。	そんなことは知らない。
明日、田中さんがいらっしゃるとのことですか？	明日、田中さんが来るそうです。	明日、田中が来るって。
来週のご都合はいかがですか？	来週の予定はどんな感じですか？	来週の予定はどんな感じ？
時間はどういたしましょうか？	時間はどうしましょう？	時間はどうする？
時はいかがでしょうか？	2時はどうですか？	2時はどう？
どちらがよろしいですか？	どっちがいいですか？	どっちがいい？
それは本当でしょうか？	それは本当ですか？	それ、ほんと？
今、何をなさっていますか/されていますか？	今、何をして(い)ますか？	今、何やってる/何やってんの？
方をご存じですか？	この人を知っていますか？	この人知ってる？
いえ、存じ上げません。	いえ/いや、知りません。	いや、知らない。
しっかりとご覧になれましたか？	ちゃんと見られましたか？	ちゃんと見られた/見れた？

こちらにいらっしゃいますか？	こちらにきますか？	こちらに来る？
何というお名前でしょうか？	何というお名前ですか？	何て名前？
行かれるんですか？	誰と行くんですか？	誰と行くの？

敬語スタイル		友達スタイル
何時ごろにお休みですか？	いつも何時ごろに寝ますか？	いつも何時ごろに寝る？
いつお帰りになったんですか？	いつ帰ったんですか？	いつ帰ったの？
どのようなお色がよろしいでしょうか？	どんな色がいいですか？	どんな色がいい？
どうしていけないのでしょうか？	どうしてだめなんですか？	なんでだめなの？
どうしていらっしゃらなかったのですか？	どうして来なかったんですか？	なんで来なかったの？
どうしてお召し上がりにならないのですか？	どうして食べないんですか？	なんで食べないの？
どうして言ってくださらなかったのですか？	どうして言ってくれなかったんですか？	なんで言ってくれなかったの？
どうしてお怒りなのですか？ 何をお怒りなのですか？	怒ってるんですか？ 何を怒ってるんですか？	怒ってんの？ 何怒ってんの？
風邪をひいていらっしゃるんですか？	風邪をひいているんですか？	風邪をひいてるの？
何か召し上がりますか（おなかはおすきですか）？		おなかすいてる？
そろそろ夕食になさいますか？	そろそろ夕食にしますか？	そろそろ夜ご飯にする？
お飲みになりますか？	飲みますか？	飲む？
	コーヒーでいいですか？	コーヒーでいい？
お気に召しましたか？	気に入りましたか？	気に入った？
味はいかがですか？	味はどうですか？	味はどう？
送りたいします。	これから送ります。	これから送る（ね/よ）。
速達でお送りいたしまししょうか？	速達で送りますししょうか？	速達で送ろうか？
駅までお迎えにまいりますししょうか？	駅までお迎えに行きまししょうか？	駅までお迎えに行こうか？
ひとつさしあげまししょうか？	ひとつ/1個あげまししょうか？	ひとつ/1個あげようか？
私がいまししょうか？	私がまししょうか？	僕/私がやろうか？
手伝いいたしまししょうか？	手伝いまししょうか？	手伝おうか？